

## 船舶インシデント調査報告書

令和6年3月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（燃料供給不能）
発生日時	令和5年9月24日 12時35分ごろ
発生場所	和歌山県和歌山下津港外港 ツブネ鼻灯台から真方位350° 1.5海里付近 （概位 北緯34°09.3′ 東経135°07.0′）
インシデントの概要	プレジャーボート <sup>かいよう</sup> 海洋丸は、航行中、主機が停止して運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和5年10月16日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート 海洋丸、1.6トン 280-45897和歌山、株式会社三建興産 ディーゼル機関、船内機、4サイクル、出力73.60kW、回転数 毎分3,100、3気筒、ボア91.5mm、使用燃料軽油、機関製造 年月日不詳、平成3年3月進水
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏
インシデントの経過等	本船は、船長が1人で乗り組み、友人1人を乗せ、釣りを終えて帰航中、主機の運転音が徐々に小さくなって停止した。 船長は、主機の始動を試みたところ、セルモータは回っても主機が始動しなかったため運航不能と判断し、118番通報して救助を要請した。 本船は、来援した巡視艇により、和歌山下津港付近の係留地にえい航された。 船長は、えい航後に主機等を点検したところ、燃料の油水分離機のエレメントに高粘度のスラッジやゴミ等（以下「スラッジ等」という。）が詰まっていた、主機に燃料が供給されなくなっていること、及び燃料タンク底部にスラッジ等が溜まっていることを確認した。 船長は、本船を平成3年9月ごろから使用していたが、燃料タンク内のスラッジ等の点検及び清掃を行ったことがなかった。
分析	本船は、約32年間燃料タンク内の清掃が行われていない中、航行中、燃料タンク底部に溜まったスラッジ等が燃料と共に燃料配管に流入し、油水分離機のエレメントが詰まったことから、主機に燃料が供給されなくなり、主機が停止して運航不能となったものと推定され

	る。
<b>原因</b>	本インシデントは、本船が、約32年間燃料タンク内の清掃が行われていない中、航行中、燃料タンク底部に溜まったスラッジ等が燃料と共に燃料配管に流入し、油水分離機のエレメントが詰まったため、主機に燃料が供給されなくなり、主機が停止したことにより発生したものと推定される。
<b>再発防止策</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 船長は、燃料タンク内のスラッジ等の点検を定期的に行い、スラッジ等が溜まっている場合には清掃を行うこと。</li></ul>